

## 会 議 の 状 況

## I 平成29年度第4回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 平成30年2月6日(火) 13:30~15:30

2. 場 所 ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬

3. 出席委員 16名

## 4. 提出資料

資 料 1 会議の状況

資 料 2 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(平成29年度第2四半期報)

資 料 3 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(平成29年度第2四半期報)

資 料 4 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成29年度第2四半期報)

資 料 5 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて(案)

資 料 6 平常の変動幅の設定について(案)

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

## 5. 概 要

## (1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果(平成29年度第2四半期報)について

## (7) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る平成29年度第2四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

## (4) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

## (7) リサイクル燃料備蓄センター

県から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

委員から、河底土(二又川下流)のウラン濃度について、採取方法、ウランとフッ素の測定値の関係及び上流側での調査に関する質問があった。事業者から、測定開始当初から同じ場所で採取している。また、ウランとフッ素の測定値に相関は得られていない。上流側で、ウラン系列の子孫核種等についても検討する、との回答があった。

委員から、表土のプルトニウム測定結果のばらつきについて質問があり、県から、土質や粒径が違うことが考えられる、との回答があった。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果（平成 29 年度第 2 四半期報）について  
県から資料 4 により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

ウ 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて  
県から資料 5 により説明があり、了承された。

なお、委員から、将来的な有機結合型トリチウムの測定の必要性について意見があり、県から、調査研究事業の結果を踏まえて検討していきたい、との回答があった。

委員から、成人一日の食品摂取量の見直しについて意見があり、県から、今後の検討課題である、との回答があった。

エ 平常の変動幅の設定について  
県から資料 6 により説明があり、了承された。

## (2) その他

ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況  
日本原燃(株)から参考資料 1 により各事業の運転状況等について説明があったほか、再処理工場における非常用無停電電源装置の故障等について説明があった。

イ 東通原子力発電所の現在の状況  
東北電力(株)から参考資料 2 により東通原子力発電所の運転状況等について説明があったほか、原子炉建屋における水の漏えい等について説明があった。

ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況  
リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料 3 により新規制基準に係る適合性審査の状況について説明があった。

委員から、参考資料 1 の低レベル放射性廃棄物の放射能測定の誤りについて質問があり、事業者から、搬出元の測定値を検証するような再測定は行っていないので、搬出元に責任ある対応を要請していく、との回答があった。

委員から、参考資料 1 に示された低レベル放射性廃棄物搬出検査装置（搬出元）の放射能測定プログラムの不具合に対する再発防止対策は極めて難解なので、わかりやすい記載にしてほしいとの意見があり、事業者から、そのように対応する、との回答があった。

## II 平成29年度第4回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会

1. 日 時 平成30年2月27日(火) 14:00~16:00

2. 場 所 国際ホテル 3階 萬葉の間

3. 出席委員 30名

### 4. 提出資料

資 料 1 会議の状況

冊 子 原子力施設環境放射線調査報告書(平成29年度第2四半期報)

冊 子 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(平成29年度第2四半期報)

資 料 2 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて

資 料 3 平常の変動幅の設定について

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

広 報 誌 モニタリングつうしんあおもり No. 107

### 5. 概 要

#### (1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果(平成29年度第2四半期)について

##### (ア) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から冊子により説明があり、次のとおり確認された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る平成29年度第2四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

##### (イ) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から冊子により説明があり、次のとおり確認された。

- ・東通原子力発電所に係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

##### (ウ) リサイクル燃料備蓄センター

県から冊子により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る平成29年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果(平成29年度第2四半期)について

県から冊子により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

ウ 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画の見直しについて

県から資料2により報告があった。

委員から、炭素－14の調査対象試料に牛乳を追加することについて、乳牛が食べる牧草の情報を調べておくことについて意見があり、県から、委員の意見を踏まえて調査を実施すると回答があった。

エ 平常の変動幅の設定について  
県から資料3により報告があった。

(2) その他

ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により各事業の運転状況等について説明があった他、再処理施設等のしゅん工時期の変更、事業者対応方針に基づく改善活動の現場確認状況、再処理事業所精製建屋における塔槽類廃ガス処理系排風機B系の故障等について説明があった。

イ 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況等について説明があった他、燃料集合体ウォータ・ロッドの曲がりに係る点検結果、東通原子力発電所1号機原子炉建屋における水の漏えいについて、東通原子力発電所1号機における新規規制基準適合性審査の状況について説明があった。

ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により新規規制基準に係る適合性審査の状況等について説明があった。